

### 1. 桃花台線車両基地用地の経緯

- 当該用地は、2009 年 2 月に桃花台新交通株式会社が特別清算を行った際、貸付金債権の代物弁済として、県及び小牧市が取得し、共有財産となったもの。  
(持分：愛知県 93.7%、小牧市 6.3%)
- その後の当該用地の利活用については、愛知県と小牧市で検討を行った結果、地元の要望を踏まえて、土地貸付により、月極駐車場及びパーク&ライド駐車場を運営するとともに、小牧市でロータリーを設置し、交通結節機能の強化を図ってきたところである。

### 2. 現在の利活用状況



用途	面積・規模	貸付 (使用) 期間	貸付先
月極駐車場	8,817 m <sup>2</sup> 利用台数 334 台	2022 年 4 月～ 2026 年 3 月末 (4 年間)	名鉄協商(株)
P&R 駐車場	1,098 m <sup>2</sup> 利用台数 41 台		
ロータリー 共用道路	4,617 m <sup>2</sup>	2022 年 4 月～ 2026 年 3 月末 (4 年間)	—

### 3. さりなる利活用に向けて

- 東部振興構想の策定を契機として、旧車両基地用地のさらなる利活用の検討を目的に愛知県及び小牧市の関係部署で構成する桃花台線旧車両基地用地利活用推進会議を設置。(令和 4 年 2 月に設置済)
- 地元ニーズ及び東部振興構想を踏まえ、利活用の検討を行う。
- 利活用に向けてはまちづくりの観点からの検討を行う。
- 民間活力の導入を検討し、手法については、売却、貸付、PPP/PFI など様々な方策を検討する。